

デイリーレポート

船長署名

Common

船名	大島丸		情報発信日時	2024 年 10 月 23 日 12 時 00 分				
現在位置	航海中	時 分		概位				
		<Lat. -		N+S Long. -		E+W>		
	停泊中	時 分		概位				
		<Lat. -		N+S Long. -		E+W>		
	錨泊中	時 分		概位				
	<Lat. -		N+S Long. -		E+W>			
	操業中	時 分		概位				
		<Lat. -		N+S Long. -		E+W>		
	観測中	12 時 00 分		概位 鳥島沖				
		<Lat. 30 - 28.7		N+S Long. 140 - 14.8		E+W>		
本船状況 気象海象	針路：	適宜	度	船速：	適宜	kt	天候：	bc
	風向：	SSW		風速：	6.5	m/s	視界：	7 浬
	波高：	1.5	m	風浪階級：	3		うねり階級：	2
乗船者 状況	乗組員	現在員：	19	名	健康状態：	良好	不良	
		摘要：						
	生徒	現在員：	8	名	健康状態：	良好	不良	
		摘要：						
	指導教官	現在員：	3	名	健康状態：	良好	不良	
		摘要：						
	支援員	現在員：	1	名	健康状態：	良好	不良	
		摘要：						
○本船動静								
10月22日13時35分 下記教員及び生徒通船にて帰船								
10月22日13時45分 二見港発航								
10月23日10時00分 生物調査実習海域（鳥島沖）着								
10月23日10時00分～10月23日10時25分 魚群探知機による事前調査実施								
10月23日10時55分～10月23日12時00分 生物調査実習(底釣り実習)実施								
○避航・避難理由								
Nil								
【学校側コメント】								
昨日は、通船を利用しての上陸。目的は水産センター見学でした。前夜に、水産センターを知り尽くす！と教官事務室前のホワイトボードに表題を記していました。帰船後、生徒の日誌には、センターで行っていたシマアジの養殖のこと。ソデイカ漁の普及に努力していること。今の課題としては、生産物の輸送方法が、おがさわら丸による週に1度の海上輸送に限られるため、鮮度維持のための品質管理方法が大きなテーマであること。こうしたことを教えられ、さらにはメカジキの回遊経路調査では、南はフィリピンから北は北海道辺りまで回遊することに非常に興味を持ったこと等が記載されていました。得るものが多い水産センター見学であったようです。								
生徒帰船後、海況も穏やかになってきたため、鳥島海域に向けて北上を開始しました。明けて、06時過ぎに、嬬婦岩に並航、生徒が起床して点呼・体操をする時には右舷後方に大海原にボツンとそびえ立つ嬬婦岩が見えていました。鳥島海域着は10時頃到着次第、底魚釣り実習の準備を行い、いよいよ底釣り実習が始まります。生徒は昨夜、魚類図鑑を開きながら、これが釣れたら良いな！この魚を釣ってみたい！本日の釣り実習を楽しみにしているようでした。果たして希望通りの魚が上がってくるのか。細心の注意をはらい、怪我・事故のないよう安全第一を念頭に、注意事項・指摘事項は確実に守り、本日と明日の釣り実習に取り組んで欲しいと思います。								